



みなさんと日本盲導犬協会を結ぶ会報です

# 盲導犬くらぶ

公益財団法人 日本盲導犬協会  
 発行人 井上 幸彦  
 223-0056 横浜市港北区  
 新吉田町6001-9  
 TEL.045-590-1595  
 FAX.045-590-1599  
<https://www.moudouken.net/>



## 新たな門出を祝い ストレートGO!



2022年度に新たに歩き出した盲導犬ユニットを祝う「盲導犬新ユニット出発式」が行われました。「ストレートGO」は盲導犬への指示語で「まっすぐ進め」の意。当日はたくさんの支援者も駆けつけ、笑顔あふれる会となりました。式典の様子は協会公式YouTubeチャンネルでご覧ください。



# TOPICS!

主なできごとの中からピックアップ

## 第15期島根あさひ盲導犬パピープロジェクト始動「パピーとのコミュニケーションを大切に」

島根あさひ社会復帰促進センター（以下、復帰促進センター）で昨年11月6日、「第15期盲導犬パピープロジェクト委託式」が行われました。2009年の第1期以来、



←復帰促進センターでの委託式の様子。協会の山口義之専務理事から訓練生へ盲導犬候補のパピーが手渡されます

74頭のパピーを育ててきたプロジェクトです。今期、協会から委託したパピーは計3頭。訓練生（受刑者）18人が参加して、パピー1頭につき6人の班体制で取り組みます。式典では、復帰促進センターの田中秀樹センター長や山口義之協会専務理事がプログラムの意義を述べ、訓練生にエールを送った後に、パピーが手渡されました。

続いてパピーレクチャーが行われ、協会職員がパピーとの歩き方、排泄のさせ方などを説明しました。事前に資料等で予習をして臨んだ訓練生たちですが、実際にパピーを前にすると、緊張して手に力が入ります。それでも、落ち着いてパピーに接するよう心がけ、次第に柔らかい表情で「グッド」と声をかけることができるように。訓練生からは「パピーとのコミュニケーションを大切に、自分自身も成長したいです」と意気込みが語られました。



←パピーレクチャーの様子。協会職員から「パピーが落ち着いて待っている時に褒める」と教わり、さっそく実践する訓練生たちです

### 日本盲導犬協会の歩み

- 10月6日..... 神奈川訓練センター「盲導犬新ユニット出発式」
- 10月11日..... 第7回常任理事会
- 10月26日..... 第2回理事会・第2回評議員会合同会
- 11月15日..... 第8回常任理事会
- 11月24日..... 職員による研究発表大会
- 12月6日..... 富士ハーネス「盲導犬新ユニット出発式」
- 12月13日..... 第9回常任理事会



↑9月22日 岡山赤十字病院と岡山県南東部の消防本部による合同勉強会で、盲導犬ユーザーを救急車で搬送する際の対応方法を検証



↑11月16日 浜松市消防局が日本で初めて開催した、盲導犬、介助犬、聴導犬と各ユーザーの消防ヘリコプターによる救助訓練に協力



←9月26日 東日本旅客鉄道株式会社協力ののもと、JR仙台駅で視覚障害者10人を対象に「安全な鉄道利用講習会」を開催



←9月26日に国立市の永見理夫市長を訪問。地域での盲導犬の受け入れ等の理解促進のため  
↓10月23日には行田市の行田邦子市長を訪問



↑11月21日 千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合の10人を対象に補助犬法等について説明。視覚障害者への客室案内体験も実施

## 新たな血統を求めてイギリスを訪問 着実に海外ネットワークを拡充

盲導犬の新たな血統を求めて海外連携を進める中、昨年10月28日～11月5日、職員4人がイギリスを訪問しました。国際的な繁殖ネットワークを広げ、盲導犬に適した良質な親犬を確保するのが目的です。約1,850kmを車で移動し、ブリーダーや協力者など計6か所を訪問しました。

2022年10月に来日し、協会を視察した繁殖家ボブ・スティールさんとメリー・ニールさんの案内で、繁殖家ら



→協会職員と記念撮影。ボブさん（右から3番目）、メリーさん（同4番目）と孫のオリー君、娘のサムさん（同2番目）。協会にとってかけがえのない存在です

の自宅を訪問。日本へ繁殖犬や凍結精液を送ってもらえるよう、協力を依頼しました。また、2020年にメリーさんから協会に提供され、現在はイギリスのボランティア宅で飼育されている繁殖犬候補のルビーにも会うことができました。新しい血統のパピー誕生に期待がかかります。

イギリスの盲導犬育成団体GDBA（Guide Dogs for the Blind Association）の繁殖センターでは、犬や凍結精液を双方で提供し合うことを協議した他、2022年に協会から提供したパピーが盲導犬繁殖犬として活躍している様子も視察しました。メリーさんからは、今後スウェーデンの繁殖家を協会が訪ねる提案もあり、協会の海外ネットワークは一層の充実を見せています。

## 持続可能な盲導犬育成事業を考える 補助犬学会学術大会に協会役職員が参加

昨年10月28～29日、東京都八王子市の東京たま未来メッセにて、日本身体障害者補助犬学会 第15回学術大会が開催され、補助犬育成関係者等130人が参加しました。大会では「持続可能な補助犬の育成を考える」をテーマに講演やシンポジウムが行われ、今後も補助犬（盲導犬、介助犬、聴導犬）が利用可能な社会であり続けるために必要なことは何かについて、活発に意見交換が行われました。「2019年以来、久しぶりに完全対面で開催され、貴重な情報共有や交流の場となりました」（運営者談）

協会からは、国際盲導犬連盟（以下、IGDF）の理事を務める田上静之理事がシンポジウム「補助犬訓練と犬の福祉」でパネリストとして登壇。国際的な盲導犬訓練や育成スタン

ダード（標準的な育成方法）の中にも動物福祉の基準が盛り込まれていることを報告し、「高い基準に基づいた適切な訓練や育成を徹底する必要がある」と強調しました。

また、「補助犬育成事業におけるワークライフバランスの実現」では、多様な働き方に関する報告があり、協会の久我真澄訓練士が子育てと仕事の両立について自身の経験を語りました。

→シンポジウム「補助犬訓練と犬の福祉：IGDFとADI®の共同声明について考える」で盲導犬の国際的な潮流について語る田上理事（中央）  
※国際補助犬連合



### ●各センター活動報告(10月～12月)

(2023年12月31日現在)

	神奈川訓練センター	仙台訓練センター	富士ハーネス	島根あさひ訓練センター	
訓練・視覚障害サポート	共同訓練	7回	3回	2回	1回
	パピーレクチャー	31回	13回	9回	5回
	パピーウォーキング修了式	1回	1回	2回	1回
	ユーザーフォローアップ	36回	36回	26回	12回
	盲導犬説明会/盲導犬体験歩行会	21回	8回	6回	4回
リハビリテーション	各種オンラインセミナー	3回			
	短期リハビリテーション	1回	2回	0回	0回
普及推進活動	その他リハビリテーション	129回(210人)	234回(333人)	100回(197人)	28回(24人)
	受け入れセミナー	12回	13回	22回	1回
メディア掲載件数	小・中学生向け実演	52回	36回	29回	39回
	一般向け実演・贈呈式・募金活動等	61回	36回	97回	32回

メディア掲載件数	31回
テレビ・ラジオ	41回
新聞	101回
WEB	23回

- 主な放送・掲載
- 10月4日..... NHKラジオ「ラジオ深夜便」"明日へのことば" に多和田理事が出演
  - 10月14日..... 朝日新聞WEB1件 漫画「サエさん」で盲導犬が取り上げられたことに触れ、社会での受け入れの歴史や現在の課題を特集
  - 10月22日..... 河北新報WEB1件 仙台訓練センターの「パピー委託式」で4家族に盲導犬候補の子犬を託しました
  - 10月24日..... 読売新聞 広島県で盲導犬の普及を目的としたパレードが開催され、協会ユーザーが参加
  - 10月26日..... 点字毎日 協会ユーザーが運営を務めた「世界網膜の日」のイベントに協会の堀江職員が参加
  - 10月30日・11月1日・2日..... 文化放送ラジオ「文化放送ロービジョンプロジェクト」で「盲導犬情報セミナー」他、ユーザーの暮らしづくり等を紹介
  - 11月3日..... 福島放送1紙、WEB7件 福島県立視覚支援学校で行った盲導犬体験の様子を紹介
  - 11月9日..... 点字毎日 協会配信リリース「日本盲導犬協会が社会の「盲導犬や視覚障害者に対する認識」を初調査」の記事が掲載
  - 11月16日..... MEN'S EX 「中井貴一の好真実」俳優の中井貴一さんが富士ハーネスを訪れ、犬と人との関係について語りました

※協会ホームページにも毎月の放送・掲載情報を公開しています。順次更新しますのでご覧ください。

# 世界最大級の視覚障害者向けイベント「サイトワールド」に協会が出展

11月1～3日、東京都墨田区で第15回視覚障害者向け総合イベント「サイトワールド2023」が4年ぶりに開催されました。視覚障害に関する世界最大級のイベントともいわれ、今回は38団体が出展。協会の盲導犬体験歩行ブースには155人が訪れました。なお、協会の金井職員はイベントの実行委員を務めました。

出展者は、視覚障害者の日常生活を支援する団体、カメラの傾きを教えるスマートフォンや音声入力のキッチンといった最先端テクノロジーを扱う事業者などで、多岐に渡った展示内容が来場者の注目を集めていました。

シンポジウム「DVD付冊子『僕とベイスの物語』完成記念講演会」では、協会の田中訓練士がトークショーに登壇。盲ろう者で盲導犬ベイスのユーザー門川紳一郎さんと、

コミュニケーション方法やベイスの訓練などの話に花を咲かせました。田中訓練士は「盲導犬と歩きたいという意思があれば、協会が力になれることはある」とメッセージを発信しました。



▶体験歩行では「盲導犬と一緒に階段も速く歩いて感動した」「白杖（はくじょう）だとあのスピードで歩くことはできない、すごかった」と驚きの声も

# 協会初！市民を対象とした意識調査を実施 盲導犬受け入れ拒否の原因を探る

協会は、昨年7月に全国の男女1,098人を対象とした「盲導犬および視覚障害に関する意識調査」を行いました。盲導犬の受け入れを阻む要因を明らかにし、視覚障害者へのサポート拡大には何が重要なのかを探ることが調査の目的です。

調査の結果、「身体障害者補助犬法を知っているか」に対して「知らない」と回答した人が74.4%あり、盲導犬受け入れの根拠となる法律のより一層の周知が急務であることが読み取れます。さらに注目したのは、盲導犬の管理に関する

認知度です。犬の衛生や健康、行動の管理をユーザー自身が行うことについて、全体の84%が知らないと回答しました。ユーザーが盲導犬を管理する技術を身につけていること、盲導犬は衛生面、行動面共に十分に管理されていることなどを、広く社会に伝えていくことの重要性が浮き彫りになりました。

調査結果の詳細は協会ホームページからご覧下さい。

こちらから▶



# 全国盲導犬施設連合会が若手向け研修 協会の訓練士2人が講師を務める

9月26～27日、富士ハーネスで認定NPO法人全国盲導犬施設連合会\*（以下、連合会）による訓練研修が行われました。対象は連合会に加盟する団体の若手職員で、盲導犬訓練士や盲導犬歩行指導員を目指す11人が参加しました。



▶バックグラウンドは違っても目標は同じ仲間たち。研修の合間にはそれぞれの所属団体の様子や普段の訓練、悩みなどを互いに共有し「分かる！分かる！」と会話が盛り上がりました

講師を務めたのは、当協会の田中訓練士と浄光訓練士です。盲導犬訓練の質を均一化し、視覚障害者の良きパートナーとなる盲導犬を育てる技術を向上させるべく、密度の濃い講習を実施しました。

テーマは、一頭一頭違う犬の個性の評価方法や、訓練士としての思考サイクルや犬との関わり方など。積極的に犬へ関わるだけでなく、関わらない時に見られる犬の様子をよく観察するのも大事な技術であることなどが共有されました。

参加した若手職員たちは、団体の枠を超えた実践や意見交換を通じて互いに新しい発見をし、同じ志を持つ仲間として友好を深めていました。

\*認定NPO法人全国盲導犬施設連合会：日本に11ある盲導犬育成施設の運営団体のうち8団体が加盟する組織。盲導犬の普及活動や調査、情報提供の他、盲導犬の訓練士や歩行指導員の認定事業などを行っています。

# 盲導犬育成を支える ボランティア LIFE

# キャリアチェンジ犬や盲導犬 パピーそれぞれの道を 幸せに歩んでほしい

（神奈川訓練センター パピーウォーカー）・佐藤さん一家・（東京都府中市）

これまで3頭のパピーたちと過ごし、現在は4頭目のジェラールと暮らす佐藤さん一家。もともと犬を飼いたいという気持ちがあった昭平さんが、パピーウォーカー（以下、PW）をしている知人のことを家族に話したら「やってみよう」と。家族みんなでPWをやってみようということになりました。

1 頭目のオペラはこだわりが強く、散歩に行きたがらないし、おもちゃ遊びも苦手でした。最初は近所の公園にも車で行って、散歩をして…の繰り返し。少しずつ歩いて行く日を作り、上手にできた時にはたくさん褒めて、根気強くオペラと向き合ううち、オペラも変わっていききました。そして迎えた修了式では、オペラと別れる寂しさで家族そろって大号泣。「たくさん悩んだけど、協会にも相談してアドバイスをもらい、実践しました」と振り返ります。

あれから3年。4頭目ジェラールとの生活が始まりました。早々に、ケージをよじ登って越えるというやんちゃな一面を見せます。一方で、トラックや自転車の音に敏感な部分も。最初は怖がって、大通



▶4年ほど前、1頭目オペラと。右は長男の由雲さん。パピーと子供たちは仲良く一緒に成長してきました

りを歩こうとすると立ち止まってしまうほどでした。そんな時は来た道に戻ったり、違う通りに入ったりを繰り返して、ジェラールも少しずつ慣れていきます。「パピーたちが翌年の訓練に入っても困らないように、苦手なことを探すのも大事です」とクリステルさん。

最初はそこまで犬好きではなかった長男の由雲さんと次女の小雪さん。今ではパピーの虜に。「パピーは我が家のセラピードッグ。お世話をするといいよ助けられています」と微笑みながら話す昭平さん。クリステルさんも「家族は普段、仕事、学校、部活と別々の生活をしているけれど、「パピーを育てる」という一つのことによって向かうことができます」とPWとしての思いが溢れます。

2 頭目のオペラと3頭目のハッチは盲導犬に、2頭目のエルマーはキャリアチェンジ犬になりました。「その犬に合った道を訓練士が見極めてくれるので。オペラもエルマーもハッチ



▶公園でほっとひと息。ジェラールを真ん中に、左から佐藤昭平さん、次女の小雪さん、妻のクリステルさん、長女の百華子さん。「ユーザーさんも犬も健康で元気に、そして安全第一で歩いてほしいです」



▶2頭目のエルマーと初めて行った海で。おもちゃを投げるとものおせず飛び込んでいきました。パピーそれぞれの個性が輝きます

ちも、幸せに過ごしている姿が目に見えます」とそれぞれの犬生を歩むパピーたちに思いを馳せるクリステルさん。佐藤さん一家とパピーたちの生活は続きます。

わかさ生活は盲導犬の育成を応援しています



# 「犬は人を成長させ 愛と生きる力を与えてくれる」

俳優

## 中井貴一さん

いつも何かしら縁あって犬を迎え入れてきたという俳優の中井貴一さん。秋に富士ハーネスを訪ねていただきました。俳優として活躍する傍らラブラドルのクルミとパイランと暮らした10数年、すべて犬中心の生活だったという中井さん。盲導犬育成の現場で人と犬との絆をお話してくれました。

### 愛犬たちとの出会いは「縁」

僕が長く一緒に暮らした愛犬2頭のことを、はじめにお話しします。

上のパイランは、映画の撮影で北海道網走市に滞在した際、そこでたまたま立ち寄った犬の繁殖所で出会いました。ブリーダーのご主人から「これも縁なので1匹飼ってやってください」と言われ、相当逡巡しましたが連れて帰ることにしました。下の子クルミは、盲導犬の映画『クイール』\*の撮影現場、京都で会ったので、両方とも映画に起因します。

『クイール』の撮影現場にいた崔洋一監督の陣中見舞いに行った時、ちょうど子犬の撮影をしていました。スタッフに「子犬たちの貰い手は決まっているの？」と聞くと、撮影が終わってから決めるということだったので、「もし貰い手がいなかったら1匹引き取るよ」と約束したんです。崔監督からの勧めもあったので撮影後に引き取ることになり、クルミと名付けました。崔監督の計らいで、映画のエンドロールにも「クルミ」と名前が出



↑仲良かったクルミ(左)とパイラン(右)

ています。

### 犬を家族に迎えるために 何をすべきか

犬と人間の関係を考えるとき、「あなたは犬、僕たちは人間」それでもひとつの家族になるために、どうしていくべきかを明確にすることが大事だと思っています。たとえば、いつでも人が犬の先頭に立って歩き、それが犬にとってストレスのない距離の取り方、付き合い方である、といったことです。犬たちに寂しい思いをさせないように、僕が撮影で家を留守にする間も、スタッフにいてもらって犬たちの環境や生活のリズムを変えないよう整えています。そうでないと犬に対する責任を負えないと思うんです。

ラブラドルという犬種は本当にヤンチャで大変。家の中のすべての物が壊されます(笑)。ある朝起きたら、洗面台の下の水道パイプが無くなっていて…錆びていた水道パイプを一夜で噛み砕いてしまったんです。よくこんな物を…よっぽど歯が痒かったのか、あっぱれでした(笑)。そんなことを何度も乗り越えていくのが、「犬と暮らす」ということ。おかげで何が起きても動じないようにになりましたね。

### 引退犬と対面 よみがえる想い

歳をとり歩けなくなった愛犬が自分の腕の中にあるのを見て、「やっと



1981年、東宝映画「連合艦隊」でデビュー以来、映画、舞台、テレビドラマなどに多数出演する他、映画プロデューサーも務める。2020年には紫綬褒章を受章。日本を代表する俳優として活躍中

いたずらしくなくなったね」と、愛おしさが増してくる。引退した盲導犬たちに触れて、そんな感情がよみがえってきました。

引退犬たちは、こうして生きているだけでユーザーの支えにもなっている。盲導犬が、あんなこと、こんなことをしてくれるというだけじゃなくて、ユーザーにとってはもっと大事なことがある。本当に愛をもらうんだと思います。一人で歩いている時は感じられなかった愛や生きる力を、犬が与えてくれるんじゃないか、そう思うのです。

### 犬に教えられ 人として成熟させてもらう

犬たちの調教も経験しましたが、犬ではなく僕が調教されるんです。犬は人を映す鏡で、顔も似てくるし、性格も飼い主に似てくる。人間(飼い主)によって、犬の良し悪しが決まるんです。動物を飼うことで、人間が



ヘアメイク:藤井俊二/写真提供:オフィス中井

←昨年9月、協会の訓練センター「富士ハーネス」を訪ねた中井さん。犬と寄り添う姿がとても自然です

横柄になってはいけないということ学びました。

訓練士を目指す方は、犬に「自分は訓練士になるんだ」と伝えなきゃいけない時があるんだと思います。そのためには自身を律しなければいけないし、良い人間にならないと良い犬を作れない、そんな状況になるのではと想像します。訓練士になってからも、犬に対してストレスがかからないよう最大限配慮しながら、自身も犬からさまざまなことを教えられているのではと思います。

視覚障害のある方も、盲導犬を持つようになって、きちんとしなきゃいけない、生活を変えなければいけないような瞬間があったなら、犬を預かった者として、どこかで自分を律しなければいけないでしょう。犬が、



↑引退犬棟で穏やかに過ごす犬たちと。犬の尊厳を大切に命に向き合う姿勢が伝わってきます

視覚障害のある方を教育する、教えるということがあるような気がするんです。

犬と人間の関係とは、そういうもののような気がします。親子の関係でも、親が子供に育てられる、大人にしてもらっている、ということがあります。同じように、動物を飼うことで、人間として成熟させてもらっている。ある意味ペットを飼うということは、家に先生を迎え入れるということだと思っています。

### 盲導犬育成事業へエールを

犬と関係を持つときには、その犬の適性を理解することがとても重要だと感じます。その子の適性に合ったことをすれば犬も楽しいし、人といることが幸せとだと感じられるの

かなと思います。

犬の適性を考えて、ストレスを与えない環境や条件を整えていても「盲導犬はかわいそう」と言う人もいます。盲導犬がユーザーを見上げて周囲を気にしながら歩いているのと、ペットが散歩をしているのと、そんなに変わりないと僕は思います。むしろ飼い主と意思の疎通がしっかりとれるように、盲導犬はより丁寧に訓練されているといえます。

盲導犬事業には、犬の訓練だけでなく、盲導犬を使う人の訓練もあると聞きました。人にも犬にも感情がある中で、訓練士はその両方を客観的に見ながら教えなければいけない。こんな大変なことはないと思います。そうしたことをベースに盲導犬が成り立っているということ、周囲の人々が理解しておく必要があると感じました。

盲導犬事業を「もっと良くしよう」という気持ちで、胸を張って訓練してください。そして、ユーザーのみなさんには、堂々と歩いていただきたいと思っています。

訓練士やユーザーはじめ、盲導犬育成事業への大きな励ましとなります。ありがとうございました。



←訓練の様子を見学した後、訓練犬との歩行にも挑戦。颯爽と歩き、ハーネスの感触を確かめます

スタートライン

# Start Line

みなさんのご支援に支えられて新しいパートナーと出会った共同訓練卒業生たち。喜びに満ち、まさにスタートラインに立ったところ

2023年11月までの共同訓練卒業生

- 各ユーザーの紹介項目
- ユーザー名・在住地(盲導犬歴)
- 盲導犬名(雄♂/雌♀) 犬種
- ①共同訓練期間
- ②パピーウォーカー名
- 犬種記号
- LR: ラブラドル・レトリバー
- GR: ゴールデン・レトリバー
- SC: スムース・コリー

## 島根あさひ訓練センター

### 日に日に合っていく歩調 2頭目フジと心を通わせる

**國** 弘さんは50歳を過ぎた頃に見えにくさを感じ始めました。眼の病気が原因です。見えるうちに白杖の訓練を受けたほうが良いと言われ、53歳の時に広島市にある自立訓練施設で歩行訓練を受けました。でも、白杖を使って一人で歩くと障害物にぶつかって怪我をすることも多く、通勤は駅まで妻に付き添ってもらう日がほとんどでした。

1年後、白杖フォローアップ訓練を受けに自立訓練施設に行くと、偶然にも協会の盲導犬体験歩行会が開かれていました。試しに盲導犬と歩いてみると「すごく速く歩ける。歩くとはこういうことだった!」と感動。走っているのかと思うほどで、その場で盲導犬の申し込みをしました。

そこから1頭目のショーと出会うまで2年間待ちました。ショーは体が大きくて、活気に満ちた歩きをする犬。一緒に通勤したり、盲学校に通ったり、忘れられない思い出ばかりです。

現在のパートナー、2頭目のフジは「元気に楽しく歩く!」と國弘さんは話します。しかし、共同訓練でのフジの第一印象は「ショーに比べて体が小さい!」、そのうえゆっくりとしたペースで歩くため、お互いの歩調が合いませんでした。それでも、ショーの頃から指示をしっかりと伝えるようにしていた國弘さんは、フジにも、自分がして欲しいことを根気よく分かりやすく言葉にします。速く歩いて欲しいときは「ストレートゴー!」、しっかり作業ができたときは「グッド!」。そんな國弘さんにフジは「この速さで歩いていいんだね」としっぽを立て、ブンブン振って歩くように。

共同訓練を終えたある日、何も無いはずの場所でフジが立ち止まることがありました。「ここにきっと何かあるのだろう」と少し待ってみると、車の発進音が。どうやら脇道から出てきた車が國弘さんたちの行く手を塞いで、通れない状況だったことに気がきました。日を追うごとに心が通じ合っています。

今では毎朝、掃除など主夫の仕事をした後、フジとの歩きを楽しみます。出かける用意をする國弘さんを



**國弘 武さん**  
広島市(2頭目)  
フジ(♂)LR  
①2023.9.14~9.27  
②葉田 哲さん

↑訓練士も驚くほどのスピードで歩く國弘さんとフジ。「妻と一緒に歩くとフジも歩調を合わせてゆっくり歩きます」

見てフジは「出かけるんでしょ?」と、出かける前から國弘さんの左側にぴったり付いて、歩く体勢に。喜びを隠し切れません。広島駅まで3km以上、コンビニまで2.5km、ときには1時間以上も歩き、店の人との会話も楽しめます。

盲導犬との生活は「好きな時に、どこへでも行けて楽しい」と笑みがこぼれます。「(広島県内の)水分峡森林公園に行ったり、太田川の川沿いをまっすぐ歩いたり、フジとたくさん出かけた。國弘さんとフジの旅路のはじまりです。



定期的には、フジのシャンプーのために協会へ。フジとの生活を訓練士に話すのも楽しみの一つです

## 富士ハーネス



**鎌野 朱実さん**  
静岡県沼津市(3頭目)  
ウルト(♂)LR  
①2023.10.16~11.2  
②佐藤 祐子さん

ウルトは初めて出会った時すぐに心を開いてくれて、とても楽しい共同訓練だったことを覚えています。歩いた道はすぐに覚えてくれて、自宅では私のそば

を離れず、まるでずっと前から一緒にいるように感じます。盲導犬ユーザーの仲間たちと定期的に行っている旅行や、大好きな音楽コンサート、私も舞台上で歌うことが好きなので歌の発表会と、これからウルトと一緒にいろいろなところへ出かけ、たくさん思い出を作っていきたいです。



**金子 直美さん**  
東京都板橋区(1頭目)  
ハッチ(♂)LR  
①2023.10.9~11.3  
②佐藤 昭平さん

**尾形 永樹さん**  
東京都板橋区(1頭目)  
シャルル(♂)LR  
①2023.10.9~11.6  
②加瀬 香奈子さん



盲学校でユーザーさんの話を聞いて盲導犬歩行に興味を持ちました。「本当に今、盲導犬歩行を選ぶのか、本当に必要なのか」と悩んだりもしましたが、シャルルとの歩行を決めました。福祉講話で全国に呼ばれることの多い私は、安全に歩くことはもちろん、一つひとつの動きを「カッコよく」歩くことが共同訓練での目標でした。少し怖がりな繊細なシャルルと「かっこいいユニット」になれるように頑張ります!

盲導犬と歩いても迷います。でも白杖歩行とは違います。いつも相棒と一緒に歩いてくれて、ぶつからないように歩いてくれます。「ここはどこだろうねえ」と話しかけることもできます。職場の人はあたたかく見守ってくれて、相棒に「おはよう」「バイビー」とか挨拶をくれます。まだ出会ってから6週間ほどなので、これからです。相棒と私、一緒にしっぽを振ってルンルンで出かけられるように、行動範囲を広げて練習していきたいです。

**塚越 豊さん** 東京都足立区(3頭目)  
ヨシ(♂)SC ①2023.11.13~11.24



スムース・コリーのヨシは、全体は薄い茶色ですが、首には白い襟巻、足には白い靴下をはいているようなおしゃれな毛色です。顔は濃い茶色で、鼻がツンとしてかわいいと評判です。たまに吠えるのが心配ですが、ハーネスを着ると仕事モードになり、止まるところは止まるなど、テキパキと仕事をこなします。牧羊犬種でよく歩くヨシと毎日5kmを歩いているのですが、一生懸命に誘導している様子が伝わってきてうれしいです。

## 神奈川訓練センター



**福井 恵子さん** 埼玉県入間市(4頭目)  
ディオネ(♀)LR  
①2023.10.16~11.8 ②和仁 信之さん

ディオネという名前の由来は、ギリシャ神話の「強く美しい女神」とのこと。出会った瞬間、以前から知り合いだったかのような懐かしい気持ちに包まれました。初めての場所や初めてのことも、堂々たる態度ですぐに覚えてしまう賢い子。そして褒められるとしっぽをブンブン振って得意そうにしています。これからさらに信頼関係を深め合せて心のキャンパスにすてきな思い出を描き、盲導犬ライフを大いに楽しみたいと思っています。

### 神奈川訓練センター

**大堀 紀子さん**  
横浜市(3頭目)  
**ドルチェ**(♀)LR  
①2023.11.13~11.24  
②安藤 洋介さん



ドルチェ、私の新しいパートナー。甘えん坊で元気なイエローの女子です。私は甘えん坊のパートナーを期待していたのでうれしいです。少し危惧していた共同訓練は楽しく終わりました。ドルチェの歩行は抜群です。家中ではちょっと野生児かなと思っていたけれど、2週間で落ち着きました。昨日は羽田空港へ。他の盲導犬と元気に挨拶を交わし、初出勤を楽しみました。健やかに元気なユニットで過ごせるよう応援をお願いいたします。

イネスの印象は「甘えん坊」です。頬をなでるとすぐにお腹を見せたり、うつ伏せでゲームをしていると背中に頭を乗せてきたり。その性格は作業でも良い方向に出ている、目標のものを見つけては、どや顔で振り返って「見つけたよ！」とうれしそうに教えてくれるので、私も「見つかったね！」とつい大きげさに褒めてしまいます。職場にギター教室、映画やライブや旅行等、たくさんの経験や思い出を積み重ねていきましょう！よろしくね♪



**松永 恵里さん**  
横浜市(3頭目)  
**イネス**(♀)LR  
①2023.11.13~11.24  
②谷口 祐己さん

### 仙台訓練センター



**鈴木 崇文さん**  
福島県いわき市(4頭目)  
**リズ**(♀)LR  
①2023.9.25~10.6  
②久保田 純子さん

サーターはとても甘えん坊で、いつもそばにいます。隙あらば私の足に顔を乗せるので、うっかり座るとしばらく動けなくなります。外出時は道の左端をきっちり歩き、段差はピタッと止まります。サーターが周りをよく見るので、私も周囲の音などを確認することが増えました。今回が初めての代替\*で、1頭目のソニアへの感謝と、「もっといい歩きができたかも」と反省があります。サーターとのこれからの歩きに生かしていきたいです。

4頭目にして初めての女の子なので、優しい口調で指示を出すように意識しています(笑)。リズのペースで、我が家の生活リズムに慣れてきています。家族の起床時と帰宅時には、お気に入りの座布団から出てきて挨拶。「もう終わり！」と座布団に戻った後は、子供たちがちょっかいを出しても「お好きにどうぞ」と寝ています。通勤はもちろん、家族との買い物にも一緒に出かけます。飛行機は一度も利用したことがないので、乗ってみたいです。



**小川 由香里さん**  
福島県いわき市(2頭目)  
**サーター**(♂)LR  
①2023.9.24~10.10  
②安部井 学樹さん

初対面は言葉にならないうれしさでした。共同訓練から2週間が経ち、日を追うごとにお互いの波長が合っていくような感覚があります。今は「ダンデを知る最中」で、日々発見があります。顔を動かして周りをよく見ている様子がハーネスから伝わってきて、シャープな歩きを楽しんでいます。ダンデが感じたことを私も感じていきたいです。ダンデとの関係性の変化、これから二人でどう過ごしていくか、その時どきを楽しみたいです。

**若山 崇さん**  
宮城県石巻市(2頭目)  
**ダンデ**(♂)LR  
①2023.11.6~11.17



\*代替:盲導犬の引退などにより、新たな盲導犬とユニットを組むこと

心がふれあう

# Heart to Heart

視覚障害や盲導犬について理解を深め  
盲導犬ユーザーが生き生きと  
安心して暮らせる社会を目指して  
心のバリアフリーを広げる活動を紹介します

## 創業50周年を迎えたセキ薬品 全296店舗に募金箱を設置



### 2023年5月から 全店舗に募金箱を設置

1973年に埼玉県で創業したセキ薬品は、「地域に密着した総合ドラッグストア」を目指し、多様なニーズに応える店舗づくりを行っています。現在は「ドラッグストアセキ」「セキ薬局」合わせて296店舗を関東圏で展開。利用者のニーズに応えることで着実に成長を続け、創業50年の節目を迎えました。

50周年に向け、社会に貢献できることはないかと考えた結果、2023年5月より全店舗に募金箱を設置して支援をスタート。当協会への支援に至ったきっかけは、調剤本部長の関颯伎さんがかつて遭遇したある出来ごとだったといいます。

### 盲導犬に優しい 社会づくりに貢献

「学生の頃、電車の中で盲導犬に出会ったのですが、近くにいた乗客による心無い行動を目の当たりにしま



した。あのときの光景がいつまでも頭に残り、何かできることはないかとずっと考えていました」

盲導犬への支援を行うことで地域の方に理解を深めてもらえれば、盲導犬がどこにでも当たり前にいる社

会になれば、あのような悲しいことは起きないのではないかと。関颯伎さんはそう考え、営業企画部長の関隼人さんと相談して盲導犬の育成支



援を提案、募金箱設置に至りました。「設置後ひと月で募金箱がいっぱいになるくらい、ご協力いただいています。これは、地域のみなさまにご理解いただけた証だと受け止めています」(関隼人さん)

### 募金を通じて 心の交流が広がった

募金箱の設置とともに、ほじょ犬マークのステッカーや盲導犬啓発ポスターを掲示。「盲導犬同伴で入店できる店であることを発信しやすくなった」とスタッフから喜びの声が上がりました。わずか6か月で支援の輪は確実に浸透。募金を通じてお客様との会話も広がりました。今後は視覚障害者が来店した際の接客方法の社内研修や、福祉に関わるさまざまな取り組みの実施も考えているといいます。

「盲導犬ユーザーの方をはじめ、お客様が買い物しやすい、親しみやすい店づくりを目指し、努力を重ねていきます。盲導犬を待ち望んでいるたくさんの方に一日も早く届けられるように、盲導犬が活躍することが「当たり前」の社会を実現するために、架け橋として支援を続けます」



株式会社インテージでは、アンケートモニターの皆さまの善意により、謝礼の一部を日本盲導犬協会に寄付させていただいております。

株式会社インテージ  
http://www.intage.co.jp/

キューモニター募集  
https://www.cue-monitor.jp/

# みなさんに 支えられて

9月11日～12月10日

## 犬種記号

LR/ラブラドル・レトリバー  
GR/ゴールデン・レトリバー

2023.9/15 誕生



2023.10/28 誕生



オス3頭  
メス2頭  
父犬ライアン (GR)×  
母犬フェアリー (GR)

オス2頭  
メス2頭  
父犬ウィンダム (LR)×  
母犬ルカ (LR)

2023.11/17 誕生



オス4頭  
メス2頭  
父犬カーロ (LR)×  
母犬デン (LR)

2023.11/29 誕生



オス5頭  
メス2頭  
父犬モーガン (GR)※1×  
母犬ローラ (GR)

## 委託しました

父犬エリオット (LR)※2×  
母犬ウェルシー (LR)

ノア♀ 敦澤 芳晴さん

父犬クルト (LR)×母犬アレッタ (LR)

ウリア♂ 阿部 まなみさん

ユナイト♂ 鍵山 真弓さん

ウリス♀ 五十嵐 俊英さん

ウーバー♂ 小林 修さん

ウーラ♀ 阿部 享子さん

ウミ♀ 吉田 貴彦さん

ウラノス♂ 剣持 勝さん

ウラル♂ 斎藤 孝義さん

ウフル♂ 小田切 清人さん

父犬キューイ (LR)×母犬ハイジ (LR)

タッカー♂ 岡田 麻貴さん

タフィー♀ 岩田 紀子さん

ティーノ♂ 内田 こずえさん

タオ♂ 大橋 智子さん

テイラー♀ 佐藤 茂さん

タベル♂ 上田 哲也さん

テレサ♀ 小池 節子さん

父犬ウィンダム (LR)×母犬ルカ (LR)

ヴィダ♀ 刀稱 尚貴さん

ヴァディ♂ 近藤 智之さん

ヴェラ♀ 佐々木原 亮さん

ヴィクター♂ 村上 麻理子さん

## 亡くなりました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	死亡日
アスター♂	-	藤田 和司さん	2023.9.24
サン♀	繁殖引退犬	蓮池 伸博さん	2023.10.3
デューク♂	佐藤 修さん	藤原 敏明さん	2023.10.6
パステル♀	根崎 早苗さん	和田 直人さん	2023.10.12
アスク♂	岩間 幸子さん	伊関 ゆりさん	2023.10.22
ケイト♀	梅澤 愛子さん	鎌田 智子さん	2023.10.29
ジョリー♂	佐藤 光子さん	市川 弘之さん	2023.11.3
ナンシー♀	山岸 加奈子さん	内藤 誠一さん	2023.11.12
シエラ♀	赤塚 セツさん	宮川 保さん	2023.11.14
マイル♂	木曾 長さん	勝矢 光昭さん	2023.11.27
ハリス♀	長谷川 功さん	前澤 博一さん	2023.11.30
パズー♂	金山 幸一さん	大友 大輔さん	2023.12.3
ルディ♂	今井 春夫 さん	-	2023.12.10

## 引退しました

犬名・性別	ユーザー名	ボランティア名	引退日
ショー♂	國弘 武さん	坂田 省吾さん	2023.9.14
ジーニー♂	清水 健男さん	北村 芳子さん	2023.9.15
ソニア♀	小川 由香里さん	仲澤 幸乃さん	2023.9.23
ジョイ♂	鈴木 崇文さん	増田 智樹さん	2023.9.24
ナビ♂	阿部 まりさん	小野 仁さん	2023.10.16
ピーチ♀	福井 恵子さん	村松 俊亮さん	2023.10.16
メグ♀	鎌野 朱実さん	山崎 寛治さん	2023.10.16
トラヴィス♂	若山 崇さん	安瀬 寛子さん	2023.11.6
ジャネット♀	大堀 紀子さん	森澤 英二さん	2023.11.13
シュガー♀	吉川 日出子さん	調整中	2023.11.13
ピッケル♂	塚越 豊さん	梶原 幸子さん	2023.11.13
マカロン♀	松永 恵里さん	平福 安紀さん	2023.11.13
ビビ♀	廣崎 順子さん	松永 往伯さん	2023.11.16
ウーノ♂	西 寿一さん	調整中	2023.11.21
アイリーン♀	新家 春美さん	調整中	2023.11.30

## 盲導犬育成状況

合計頭数…710頭(2023年12月25日現在)

委託前パピー	13頭	繁殖犬	45頭
パピー	87頭	PR犬	13頭
訓練犬	78頭	引退犬	176頭
盲導犬	233頭	繁殖引退犬	65頭

無理なく、続けられる



## ナチュラリープラス®

The Global Healthcare Company

私たちは盲導犬の育成支援・普及活動を通じ、皆さまの健やかな暮らしを応援しています。



株式会社 ナチュラリープラス 〒106-6035 東京都港区六本木1-6-1 泉ガーデンタワー35F  
TEL 03-6230-3311 FAX 03-6230-3011 URL <http://www.naturally-plus.com>

※1:イギリスの盲導犬育成団体(GDBA)からの凍結精液を使用した人工授精  
※2:フランスの盲導犬育成団体(Cesecah)からの凍結精液を使用した人工授精